

～5月6日(水)までの1年生社会科学習の手引き(改訂版)

○地理教科書 P.24～P.41

○歴史教科書 P.32～P.51

①教科書本文や教科書の資料を読む。

②教科書の大切な語句をノート(雑紙や広告の裏も可)などに5回ずつ漢字で書く。

※【チャレンジ課題】興味がある重要語句をインターネットや辞書などで調べてみよう。

③本文の大切なところやポイントをノート(雑紙や広告の裏も可)にまとめる。

学習例 社会自主学习(歴史 P.34～35)のポイント

①教科書本文や教科書の資料を読む。

②教科書の大切な語句をノート(雑紙や広告の裏も可)などに5回ずつ漢字で書く。

【重要語句一覧】

- ①稲作(いなさく) ②金属器(きんぞくき) ③弥生土器(やよいどぎ) ④弥生時代(やよいじだい)
- ⑤登呂遺跡(とろいせき) ⑦吉野ヶ里遺跡(よしのがりいせき)
- ⑧漢委奴国王(かんのわのなのこくおう) ⑨邪馬台国(やまたいこく) ⑩朝貢(ちょうこう)
- ⑪魏志倭人伝(ぎしわじんてん) ⑫卑弥呼(ひみこ)

※【チャレンジ課題】興味がある重要語句をインターネットや辞書などで調べてみよう。

③本文の大切なところやポイントをノート(雑紙や広告の裏も可)にまとめる。

④発展問題にチャレンジしてみよう。



古代日本最大のミステリーにチャレンジ!!

【発展問題】

①邪馬台国のあった場所については九州説と近畿説に大きく分かれている。それぞれの主張をインターネットや本などで調べてノートにまとめよう。

②まとめた主張をもとに、あなたはどちらの説が正しいと感じたのか書こう。理由も必ず書きましょう。

社会科こぼれ話

卑弥呼は政治家？それとも占い師？

今から1800年～2000年ほど昔の弥生時代、日本は100くらいの国に分かれて争いがたえませんでした。そのうちの30国くらいをたばね、その中心となった国が「邪馬台国」です。国内での争いが続かなかで、多くの人の人気を集めて邪馬台国の女王になったのが、卑弥呼なのです。彼女は死ぬまで独身で、ほとんど人と会わずに彼女の占いの結果（神のお告げ）を弟が民に伝えたと言われています。

つまり、「占い」で国を治めていたのです。彼女は占いが卓越しているだけでなく、政治家としての手腕も見事なものでした。当時の中国を治めていた有力な国である「魏」に使いを送り、「親魏倭王」の位をもらっています。つまり、強力な後ろ盾を得たわけです。争っている国は中国の後ろ盾がある邪馬台国にはなかなか手が出せません。占い師としても一流、政治家としても一流な卑弥呼。邪馬台国がどこにあったか確定されればお墓も見つかるかもしれませんね。